

- ・対象地域：湧別町、佐呂間町、常呂町
- ・地域人口：16,699人（常呂町 4,947人、佐呂間町 6,532人、湧別町 5,220人）
- ・漁港：サロマ漁港(4)、常呂漁港(2)、湧別漁港(2)、常呂河口港(1)、栄浦漁港(1)、浜佐呂間漁港(1)、富武士漁港(1)、芭露漁港(1)、登栄床漁港(1)
- ・漁業協同組合員：438人 3漁協：常呂・サロマ・湧別漁業協同組合（常呂地区 181人、佐呂間地区 69人、湧別地区 188人）

サロマ湖地域マリンビジョン

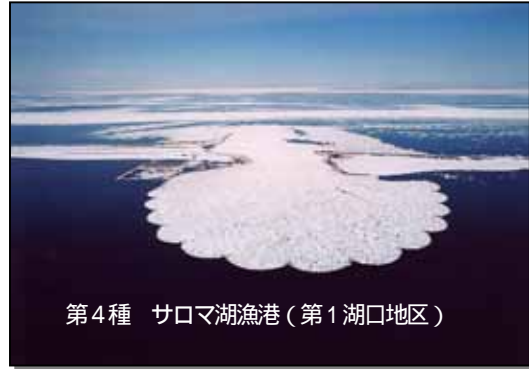
～ 豊饒な湖の自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくり ～
平成 17 年 3 月策定

拠点漁港のタイプ

増養殖支援拠点型

環境保全・循環型社会拠点型

拠点漁港

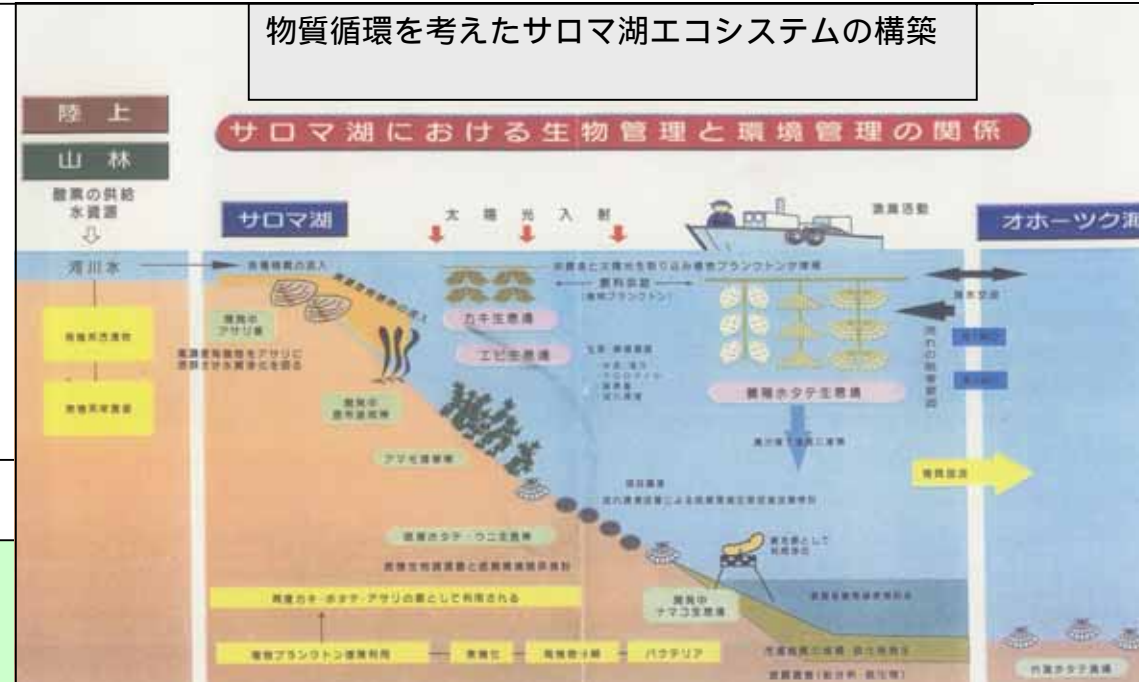


第4種 サロマ湖漁港（第1湖口地区）

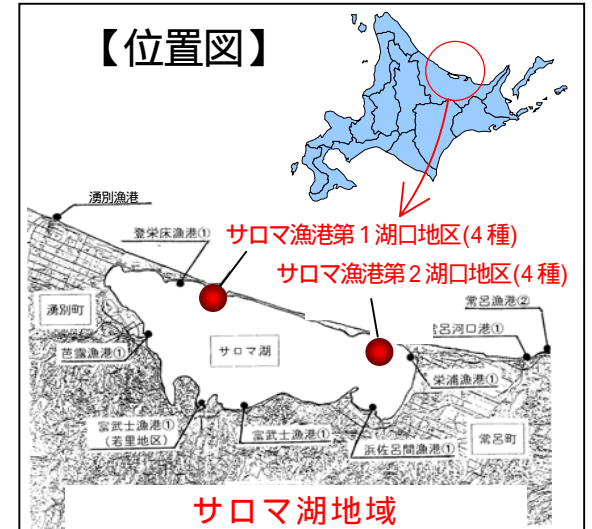
地域の資源



サロマ湖内の漁業活動

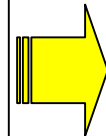


【位置図】



現状と課題

- 生態系に影響を及ぼす環境悪化
- 魚価低迷による経営の圧迫と漁港の機能整備
- 単一漁業への依存
- 過疎による地域活力の低下

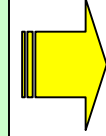


地域の目指す姿

- ビジョンの特徴**
- サロマ湖との共生を図りながら漁場環境保全、つくり育てる漁業を推進し持続的な漁業活動を強化
- 漁場環境保全・改善と循環型社会の形成**
- 豊かな自然の循環機能を生かした漁場づくりと循環型社会形成
- 漁協経営と生産基盤の整備強化**
- 経営の合理化と体質強化
- 水産廃棄物の有機的活用と漁港の機能整備拡充
- つくり育てる漁業の推進**
- 科学的な知見による資源管理と資源維持のための自主規制
- サロマ湖ブランド、オホーツク海ブランドの構築
- 漁村の活性化と人づくり**
- 暮らしやすい魅力ある地域づくり
- 3町にまたがる広域観光ネットワークの形成

漁港の将来像

- 増養殖支援拠点機能**
- 多孔式防波堤、屋根付係船岸施設等
- 環境保全・循環型社会拠点機能**
- 海水交換、ホタテ貝リサイクル拠点施設等



ビジョン実現のための主な取組み

- サロマ湖物質循環モデルを基軸にした漁場管理総合計画の策定
- アイスブーム施設維持管理による防災や安全操業の確保
- 新資源(ナマコ、アサリ、ムラサキイガイ)の開発と自然環境に配慮した増養殖漁業の推進
- 食の安全と安心のためのトレーサビリティシステムの導入
- 広域観光団体との事業連携の推進

地域マリンビジョン協議会

- メンバー
- ・漁業関係者
 - 常呂、佐呂間、湧別
 - 各漁業協同組合
 - サロマ湖養殖漁業協同組合
 - ・行政関係者
 - 常呂町、佐呂間町、湧別町

地域資源(特徴)

- 網走国定公園に位置するサロマ湖
重要湿地
流水
- 【主な地域資源等】
- ・ワッカ原生花園（日本最大の海岸草原）
 - ・キムアネップ岬
 - ・サンゴ岬
 - ・鶴沼原生花園
 - ・水芭蕉群生地
 - ・サギ沼原生花園
 - ・いこいの森・・・等

